

伊賀にも空襲があった

今年は75回目の終戦記念日を迎えます。アジア・太平洋戦争では、戦地に赴いた兵士だけではなく空襲などによって多くの市民が犠牲となりました。

当時の空襲では、都市部を中心に大量の焼夷弾が投下され、多くの犠牲者が出ましたが、伊賀地域への空襲で特徴的なのは、艦載機による機銃掃射です。その標的の一つとなつたのが、交通の大動脈であつた鉄道です。

昭和20（1945）年8月8日午前10時頃、伊賀神戸駅を出た列車が、丸山駅近くの鉄橋に差し掛かったところを艦載機に襲われます。混み合っていた列車では、車掌を含む12人が死亡し、重軽傷者も23人に上りました。

死者は丸山駅構内の変電所に安置され、負傷者は岡波病院へと搬送されました。この空襲の1時間前には、名張の美旗駅でも列車を狙った機銃掃射があり、30人の死傷者が出ています。

伊賀地域への空襲は、列車への機銃掃射だけではありません。同年7月27日には、依那国民学校に爆弾が投下され、校舎が破壊されました。幸い人命に関わる被害はありません

でしたが、攻撃は児童が下校してわずか1時間後のことでした。

このような空襲に備えるため、各所に敵機の襲来を監視する防空監視哨が設けられます。敵機発見の報告があると、空襲警報が発令され、灯火管制や防空壕への避難が行われました。

柘植町の成田山不動尊には、現在も監視哨の基礎部分が残され、近くには花こう岩を大砲のように加工した石製品が横たわっています。用途や設置場所は不明ですが、敵機を威嚇するための偽装砲だったと考えられています。

節目の終戦記念日にあたり、戦争による犠牲者の冥福を祈るとともに、二度と伊賀の空に空襲警報を鳴り響かせないことを誓いたいと思います。



▲成田山不動尊の石製大砲

文化財課歴史資料係

☎ 52・4380 FAX 52・4381

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

子どもとのコミュニケーション ー人事課ー

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年は小中学校の休校や保育園の登園自粛などがありました。子どもたちは、友だちと直接会話をする機会が減った時期だったのではないかと思います。反対に、家で過ごす時間は大幅に増えました。いつもよりも子どもとたくさん話すことができたという家庭もあれば、子どもがゲームやスマートフォンばかり触っていて、いつも通りだったという家庭もあったかもしれません。

私は、子どもとの何気ない会話が子どもの自信に大きくつながることがあるなと感じるときがあります。できたこと、頑張ったことに対して「よくできたね。よく頑張ったね。」と素直に伝えると子どもは嬉しそうな笑顔を見せてくれます。その様子を見て、子どもは褒められたことがきっかけで、もっと頑張ろう、他にも何かできるかなと思うようになるのだなと感じます。

反対に子どもとの会話が少なくなると、さまざまな食い違いが起こってきます。「ランドセルの色を勝手に決めてしまった」、「子どもの着たい服を勝手に決めてしまった」、「子どもの持ち物を勝手に捨ててしまった」、「子どもの主張を聞かず頭ごなしに叱ってしまった」。これらは、すべてコミュニケーション不足が引き起こす問題であると思います。このように良くも悪くも、コミュニケーションには大きな力があります。私たちは知らず知らずのうちに子どもの権利を奪っていることもあるかもしれないのです。

お互いを理解するためにコミュニケーションを意識することは、子どもの成長を見守る上でとても大切なことです。そしてこれは人権問題解決の第1歩にもつながることだと思います。皆さんも、改めてコミュニケーションの大切さについて考えてみませんか。



伊賀市ミュージアム 青山讃頌舎 だより

6月にオープンした伊賀市で初の美術作品専用の展示施設「ミュージアム青山讃頌舎」(あおやまのいえ)。夏の企画展は『伊賀焼今昔』です。

伊賀焼は国指定の伝統工芸品で、古くは奈良時代に始まったといわれる日本文化を代表する古陶です。

今回は、桃山時代の伊賀焼から現代の伊賀焼作家たちの作品までを同時に楽しめる展覧会を企画しました。さまざまな伊賀焼をご堪能ください。

【開催期間】 8月8日(土)～30日(日)

午前10時～午後4時30分

【休館日】 毎週火曜日

【観覧料】 300円(高校生以下は無料)

※8月24日(月)～30日(日)は観覧無料です。

【問い合わせ】

○文化交流課 ☎ 22-9621 FAX 22-9619

○ミュージアム青山讃頌舎 ☎ 52-2100

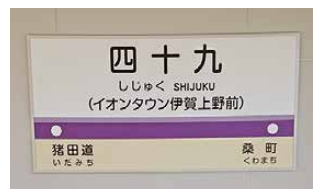


忍者線(伊賀線) だより



ネーミングライツ(副駅名)の取り組み

伊賀線経営改善のための「鉄道事業再構築実施計画」に、赤字運営から脱却するための施策の1つとして、「駅に対するネーミングライツ(副駅名)」の取り組みが企画されています。これは企業や商業施設が広告料を負担することで、既存駅の副駅名として自身の企業名などを駅名看板などに掲示することができるというものです。取り組みの詳細やご相談については、伊賀鉄道㈱までお問い合わせください。



【問い合わせ】 ○伊賀鉄道㈱ ☎ 21-0863

○交通政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9694

情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手洗いの徹底・自宅での検温・マスクの着用をお願いします。

甲賀市

亀山市

～ドラマの感動を再び～ テレビドラマの世界展

旧信楽伝統産業会館では、企画展「テレビドラマの世界 ～スカーレットの舞台 甲賀市信楽～」を開催しています。



▲まるごと移築された
かわはら工房

女性陶芸家川原喜美子の波乱万丈の半生を描いた連続テレビ小説「スカーレット」の収録で実際に使用した穴窯や、「かわはら工房」の撮影用セットをはじめ、衣装や小道具などを展示しています。

入場は無料ですので、ぜひお越しいただき、ドラマの感動を再び味わってください。

【開館時間】 午前9時～午後5時(水曜休館)

【ところ】 旧信楽伝統産業会館

(滋賀県甲賀市信楽町長野 1142)

【問い合わせ】 テレビドラマの世界展(直通)

☎ 0748-70-2466

【問い合わせ】 甲賀市秘書広報課 ☎ 0748-69-2101

～2カ月限定の魅力発信拠点～ 日本武尊・弟橘媛 ゆかりの地PR展示

亀山市では7月1日(水)から8月31日(月)までの2カ月間、津駅前前のショーウィンドウを活用したシティプロモーション活動に取り組んでいます。

メインテーマを「遙かなる、時をこえて 亀山市」とし、今年が日本書紀編さん1300年の節目にあたることから、亀山市にゆかりのある日本武尊と弟橘媛の物語をパネルや特大ポスターなどで紹介しています。

屋外からどなたでも自由に見ることが出来ますので、ぜひ一度ご覧ください。



【とき】 8月31日(月)まで

【ところ】 野村證券㈱津支店

(津市羽所町 371)

【問い合わせ】 政策課広報秘書グループ

☎ 0595-84-5021

【問い合わせ】 亀山市広報秘書G ☎ 0595-84-5021